

令和7年度 第3回甲賀市文化のまちづくり審議会 議事録

日時 令和8年(2026年)3月11日(木)

18:00～20:00

場所 あいこうか市民ホール練習室2

出席者 委員 大野会長、原副会長、梅本委員、野崎委員、黒田委員、瀬古委員、河尻委員、
比留川委員、山下委員、蚊野委員 以上10名

事務局 教育委員会事務局 社会教育スポーツ課 林課長、嶋本課長補佐、
藤田係長、前田主事

傍聴者 なし

1. 開会

審議会委員12名中10名が出席であることから、甲賀市文化のまちづくり審議会規則第3条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

市民憲章 唱和

2. 開会あいさつ

林課長 あいさつ

3. 議事録の承認

「令和7年度第2回甲賀市文化のまちづくり審議会」 議事録の承認について
資料1のとおり 承認とする

*委員から、第1回の議事録について、甲南忍の里プララの意見についてもう少し具体的に書いて欲しいと意見があった。

*委員から、議事録を審議会終了後1～2週間を目安にメール等で送ってほしいと意見があった。

4. 報告事項

「令和7年度文化芸術振興条例施行告知事業 旭堂南湖とあそぶ古典芸能」事業報告について
【資料2】のとおり

- *委員からアンケートの年齢内訳について聞きたいと意見があったため、事務局より集計を報告した。
- *委員より、これからの事業報告について、主催者としては思惑通りの結果だったのかを述べてほしいと意見があった。

5. 協議事項

甲賀市文化のまちづくり計画（3次計画）策定に向けて 【資料3】 【資料4】

施策4 子どもたちの創造力育成プログラムの推進について【資料5】

- *大野会長よりグループトークにあたって参考として今まで「子どもたちの創造力育成プログラムの推進」に関連して活動されてきた内容を紹介。

*施策4についてのグループ討議を3班に分かれて実施【資料5】

- 1班 原委員、瀬古委員、比留川委員、蚊野委員
- 2班 梅本委員、黒田委員、河尻委員、今野委員
- 3班 大野会長、野崎委員、山下委員 （事務局も各班に入った）

【グループ討議で出された主な意見】

- ◆やはり子供のこととなると、学校の先生の協力は必要になる。学校がもっと協力しやすいように学校のカリキュラムに組み込むような仕組みが必要ではないか。
- ◆子供のうちにジャンルを問わず様々な文化・芸術に触れることができる環境が大事だと思う。
- ◆様々なジャンルを組み合わせた文化・芸術キャンプのようなものを開催してはどうか。
- ◆今年開催される甲賀映像祭を継続して、子供から大人まで参加して映画を撮るような機会があればよいと思う。
- ◆子供は親の影響を少なからず受けると思うので、親の心の余裕なども大事だと思う。
- ◆大衆向けのジャンルやその時流行しているものはテレビ等で広まりやすいが、そうでないものは行政からのアプローチが重要だと思う。
- ◆デジタルを活用すればコミュニケーションが苦手な子供も参加しやすいイベントを行うことができると思う。
- ◆委員を含め個々で行っている活動をもっと繋げていけるような仕組みをこれから審議会でも話していきたいと思っている。

6. その他

3/18～20 第8回日本国際観光映像祭・甲賀映像祭2026

3/21 夢の学習 発表会

3/31 水口東高校演劇部 公演

5/3 第14回 ピアノを贈ろう！コンサート 音楽劇「金のがちょう」

3/21 石部中学校吹奏楽部 スプリングコンサート

以上について、委員及び事務局から案内

次回開催については、7月に予定している。場所は未定。

7. 閉会

資 料

資料 1 : 令和 7 年度 第 2 回甲賀市文化のまちづくり審議会 議事録

資料 2 : 旭堂南湖とあそぶ古典芸能 事業報告

資料 3 : 甲賀市文化のまちづくり計画（3 次計画）の策定に向けて

資料 4 : 「甲賀市文化のまちづくり計画（3 次計画）の策定に向けて」のグループ討議について

資料 5 : 施策 4 子どもたちの創造力育成プログラムの推進について
（グループトークにあたって）

＊各種事業について、チラシを同封しています。